



校長 坂本 晋

みたけが原便り

第1回 「自分にかまけよ！」

(4月5日始業式講話)

皆さんこんにちは。

初対面ですので、簡単に自己紹介をします。わたしは、37年間県立高校に勤めていました。教科は国語です。そうですね市内では盛岡一高や盛岡三高にも勤務していたことがあります。その後、岩手県立大学でキャリアサポート（これは大学生の就職活動を支援・指導する仕事です）これを1年した後で、2年前からは盛岡中央ゼミナール、（これは予備校です）の校長をしています。

このたびは、縁あって中央附中に着任することとなりました。中学校の校長に就くのは県南の一関一高附属中学校以来、4年ぶりです。昨日は早速生徒会役員の菊池さんや熊谷さんたちと楽しくおしゃべりをしましたが、皆さんと一緒に学校生活を送れることをとても楽しみに思っています。

さて、先ほどは、様々な可能性に挑んでいく進取の気象と、夢に向かって向上していこうとするチャレンジ精神を発揮して、伸びやかで誇りに満ちた魅力的な学校を作っていきますと話しました。そのために私も先生方と力を合わせて、皆さんを全力で応援しバックアップするつもりです。

そのスタートにあたり、ひとつ、皆さんに心にとめておいてほしいことがあります。それは、今皆さんはご家族をはじめ大勢の人たちに支えられて暮らしていますが、附中での学校生活の主演はあくまで皆さん自身だということです。

もしかしたら皆さんは気づいていないかもしれませんが、実は皆さんの持ち時間はそう多くないかもしれません。どういう時間かというと、「自分のために悩み、自分のことだけを考えていけばよいという時間」です。それが許される

のは、長い人生にあっても中学時代から高校時代にかけての短い間だけかもしれないということです。とすれば、もうあと数年しかありません。

みなさんはこの後ほとんどの人が大学に進み、やがて社会人となります。すると、人はいつか、好むと好まざるとに関わらず、自分のことだけを考えるということができなくなります。では誰のことを考えるのか？マアはじめは彼氏や彼女のことかもしれません。仕事に就けば職場の仲間や同僚、上司。結婚して子供ができれば家族、そのうちにその頃にはもう年をとってしまった親御さんのことを、いつの間にか自分のことよりも先に考えてしまうようになります。

そして、世の中で仕事をこなしながらだんだん大事な役を任せられるようになるにつれて、ここでも自分最優先ではなく、お客さんやお得意先の人たち、あるいは名前も知らず会ったこともない大勢の誰かのために、自分の力を発揮し、役割や責任を果たしてゆくようになります。（たとえば、漁師さんは自分が獲った魚を食べる人が誰かを知っているわけではありませんね。お百姓さんは、自分が丹精込めて育てたお米を、美味しいと言って食べる皆さんの顔を知りません。）

自分のことだけにかまけていられなくなる。実は、それが大人になるということのありようの一つなんですね。

ですから中学校生活では、思いっきり自分自身にこだわり、自分のことにかまけてください。若者の言葉で言えば、自己チューOKです。（ただし、もちろん、友達や周りの人に迷惑をかけ

校長通信「みたけが原便り」 平成 31 年 4 月 5 日(金)

ないという心配り、この絶対条件がつくのは当然ですね。)

将来を見据えながら、自分が本当にしたいことは何なのか、自分が幸せになるために今何をすべきなのか、その一点に絞って一生懸命考え、そのための行動に出てください。皆さんにとって中央附中がそのヒノキ舞台になります。

現代は知識基盤社会と言われます。これは、昨日の常識や昨日の最先端があっという間に今日にはもう古びてしまう、時代遅れになってしまう社会です。それほどに時代は速いスピードで変化しています。一定の知識や技術、資格を手に入れてもうこれで安心と努力を怠っていると、明日にはすでに世の中の大きな潮流から取り残されてしまっている、そういう時代に皆さんは生きています。自分から主体的に動き、自ら求めて経験し、学び続けていこうという意欲と、それを支える知識・技術を身につけなければなりません。そのために本校はうってつけの環境にあります。

みなさんは間違いなく多くのことに恵まれた中学生ですが、だからといって未知の世界が自然と狭まるわけではない。中央附中生であることに安住してのんびり胡座をかいているわけにはいかないのです。世界中の海を回遊するマグロのように、中央附中生をやり続けていくことで皆さんは成長していきます。

よりよい自分を作るのだという皆さんの気概、自分を磨き上げていこうとする行動力に期待します。記念すべき新元号「令和」のスタートダッシュを決めて、この1年をしっかりと自分の成長につなげていきましょう。

(さかもとすすむ/盛岡中央高校附属中校長)

